

令和4年度 職員アンケート集計 (第2回評議員会資料)

通し 番号	評価項目	具体項目	具体的方策	評価の平均
1	① 重点的な 取り組み	学力向上	生徒の学力向上に向け、様々な視点で取り組みが行われている。	3
2		キャリア教育	産社・給探、特別活動などとして、生徒の適性に応じた指導の蓄積が行われている。	3.3
3		社会性	生徒主体の学校行事や部活動などとして、コミュニケーション能力が図れている。	3.5
4		地域との連携	平戸を知る、調べる、動く、発見するという活動が実践されている。	3.2
5	② 地域に信頼される学 校を目指す	出席率99%	適切な登校支援を行い、生徒は毎日登校している。	3.4
6		入学してよかった80%	生徒は学校生活を有意義に送っている。	3.4
7		ホームページの公開	積極的に公開を図っている。	3.3
8		オープンスクール	平戸高校の良さを発信できた。	3.5
9	③ 授業を大切にす る学校	LHRの曜日移動	学校行事の曜日分担がなされ、授業カットの平準化が図れている。	3.2
10		短縮授業の連絡	非常勤講師も含め、日程変更の連絡が速やかにできている。	3.5
11		観点別評価	評価システムの構築が図れている。	3.2
12	④ 学びの共同体	一人もひとりしない	授業研究会において、自身の授業改善が図れている。	3.2
13		教育の専門性の向上	生徒(教科)指導の前に、生徒が学ぶ環境や事実の背景を考えるようになった。	3.2
14		主体的・対話的で深い学び アンケート	「我慢」している生徒に注視するようになった。	3.5
15	⑤ 図書館	感性豊かな生徒の育成	図書日より、図書の配置など、図書利用向上に工夫がなされている。	3
16			レファレンス機能があることを知っている。	2.5
17	⑥ 美化	日々の清掃活動	生徒は、主体的に清掃活動に取り組んでいる。	3.2
18		高校生らしい爽やかな容儀	日頃から身だしなみを整えて生活をしている。	3.1
19	⑦ 生徒指導・生徒会	携帯電話のルール・マナー	携帯電話のスマートな利用を心掛け、他者に対して不快な思いをさせないように使用することができる。	3
20		いじめのない学校	良好な交友関係を築き、いじめゼロの学校を目指す。	2.9
21		学校行事	生徒会執行部を中心として、生徒主体の学校行事を企画・運営する。	3.8
22		専門委員会	各委員会の特色を生かし、平高の活性化に努める。	2.5
23	⑧ 進路指導	進路ガイダンスの充実	就職・進学について、必要な情報を入手することができた。	3.2
24		模試への意欲	自己の進路実現に向け、取り組むことができた。	2.7
25		情報共有	学年会等として、生徒の現在の状況を把握できた。	3.4
26	⑨ 相談・特別支援教育	アンケートの実施	定期的にアンケートを実施し、早期発見及び実態把握をすることができた。	3.6
27		支援体制	各種委員会を実施し、情報共有を行うことで支援体制の充実を図ることができた。	3.5
28		SC・SSWとの連携	定期的に外部専門家と連携をとり、校内の支援へとつなげることができた。	3.5
29	⑩ 保健	安全管理	安全点検を行い、事故の未然防止に努めている。	3.3
30		健康への意識醸成	保健だよりの発行など、健康に関する情報発信ができています。	2.7
31		性教育・薬物乱用防止教育	生徒の実態に合った性教育や薬物乱用防止教育が実施できた。	3.1